

地区連合自治会町内会長 様  
自治会町内会長 様

横浜市泉消防署  
署長 小林 修二

## 令和3年度家庭防災員研修受講者の推薦について（御依頼）

### 1 家庭防災員研修について

今後発生が危惧される、大規模災害による被害を軽減するためには、「自助」とともに「共助」の重要性がますます高まっています。

家庭防災員研修を通じて、自らの家庭を守るための知識や技術を身に付けていただくとともに、共助の重要性についても理解を深めていただくことで、地域における防災活動の担い手として活躍していただきたいと思います。

今年度は、家庭防災員研修に市内で約3,000名（泉区152名）の方々から申し込みをいただきました。

令和3年度につきましても、家庭防災員研修受講者の推薦について御協力いただきますようお願いいたします。

### 2 募集方法

自治会町内会長様から受講者の推薦をお願いします。

### 3 推薦の御依頼について

泉消防署から各自治会町内会長様あて文書にて推薦の御依頼をさせていただきます。

### 4 募集期間について

推薦の御依頼文到着後から令和3年3月26日（金）まで

### 5 修了証について

研修受講者へ、市長名の「修了証」を交付します。

### 6 研修期間及び研修内容について

研修期間：1年間で、1回あたり2～3時間の研修を、2～3回実施します。

研修内容：裏面を参照

### 7 新型コロナウイルスに係る研修会等実施における感染防止対策について

研修にあたっては、定期的に研修会場を消毒するほか、受講者間に一定の距離や間隔を確保します。また、受講者の皆さまには、マスクの着用や手指消毒などをお願いするほか、発熱、咳、倦怠感等の症状がある方に対し受講自粛を要請するなど、必要な感染防止対策を徹底して実施します。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今後の状況によっては研修開催方法の変更等（中止・延期を含む）を行うことがあります。

担当：泉消防署予防課予防係  
坂本・齋藤（公）  
電話：045-801-0119

# 研 修 内 容

区分	時間	内容
防火研修	1時間	住宅防火対策（出火防止、消火方法）など
救急研修	2時間	救命処置要領（AEDを含めた心肺蘇生法）など
地震研修	2時間	地震の知識や対応方法など
風水害研修	2時間	風水害の知識や対応方法など
災害図上訓練 (DIG) 研修	3時間	災害図上訓練（DIG・ディグ） ※ DIG（ディグ）とは、参加者が地図に様々な情報を 書き込み、防災対策を検討する訓練です。

※ 上記の研修を3回（1回あたり2～3時間）に分けて実施します。

<p><b>【選択制】</b> スキルアップ研修</p>	<p>各区の実情・家庭防災員の要望に応じた カリキュラム (例) 防災講演会、救命講習（普通・上級）など</p>
----------------------------------	--

## ～研修の実施状況～

防火研修



救急研修



災害図上訓練  
(DIG) 研修



地震研修



風水害研修



※地震研修、風水害研修の実施状況は、市民防災センターで行われた研修の様様です。

- 平日の夜間や土日にも研修を行っています。
- 研修中に小さいお子様をお預かりする「一時託児制度」があります。

～横浜市消防局からのお知らせ～

# 家庭防災員 研修受講者 募集



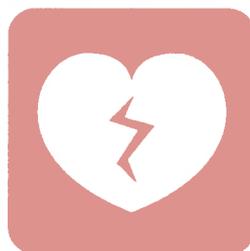
火災



風水害



地震



AED



心肺蘇生

## 研修受講要領

- 申込み：自治会・町内会を通じて推薦を受けて頂くようお願いします。
- 要件：満15歳以上の市内在住の方で、性別は問いません。
- 研修期間：1年間（過去に家庭防災員の研修を修了した方も受講できます。）
- 日程・場所：詳細は、各区の消防署からお知らせします。
- 修了証：研修修了者には市長名の「修了証」を交付します。

## 主な研修内容

出火防止対策や救命処置など、災害から身を守るための知識や技術を学びます。



### 防火研修

住宅防火対策など。



### 救急研修

救命処置要領  
(AEDを含めた心肺蘇生法)  
など。



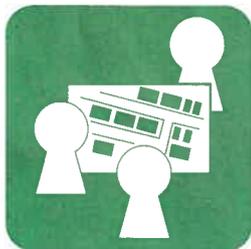
### 地震研修

地震の知識や対応方法  
など。



### 風水害研修

風水害の知識や対応方法  
など。



### 災害図上訓練 (DIG)研修

参加者が地図に様々な情報  
を書き込み、防災対策を  
検討する訓練です。



### スキルアップ研修

各区の実情・家庭防災員の  
要望に応じたカリキュラム  
(選択制)

\*約3時間の研修を3～4回で修了します。(各消防署により時間と回数が異なる場合があります。)

\*平日以外にも研修を行います。

\*研修中に小さいお子様をお預かりする「一時託児制度」があります。

\*研修内容等については、各消防署へお問い合わせ下さい。

## 各消防署連絡先

鶴見消防署	503-0119
神奈川消防署	316-0119
西消防署	313-0119
中消防署	251-0119
南消防署	253-0119
港南消防署	844-0119
保土ヶ谷消防署	342-0119
旭消防署	951-0119
磯子消防署	753-0119

金沢消防署	781-0119
港北消防署	546-0119
緑消防署	932-0119
青葉消防署	974-0119
都筑消防署	945-0119
戸塚消防署	881-0119
栄消防署	892-0119
泉消防署	801-0119
瀬谷消防署	362-0119

令和2年11月発行 横浜市消防局予防課  
〒240-0001 横浜市保土ヶ谷区川辺町 2-9  
電話 045-334-6406 FAX 045-334-6610

デザイン制作 横浜デジタルアーツ専門学校